

## 宇都宮市立緑が丘小学校 学力向上に向けた学校全体での取組

### ★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
自分の考えを分かりやすく表現する力の育成	全ての学年で、ペアやグループで互いの考えを伝え合ったり、相談したりする場を意図的に設けたり、自分の考えを書き表す活動を多く取り入れたりする。	「グループの話し合いに自分から進んで参加している。」の質問に対して、2年～6年生で、市の平均を上回っている。ペアやグループでの学び合いの場を積極的に設定した成果の表れと考えられる。 しかしながら、6年生の国語で、記事を読んで意見文を書いたり、自分の意見とその理由を区別して作文を書いたりする記述式の問題において、いずれも市の平均を下回っている。
基礎基本の確実な定着を図る指導	全ての学年で、基礎・基本の確実な定着を図るために1時間の授業の「めあて」を児童にしっかり提示し、授業の終末には「振り返り」を書く時間を確保する。	国語の熟語の構成や国語辞典の使い方など、言語面では市の平均を上回っている。算数の整数×分数の計算や、分数÷分数の設問においても、市の平均を上回っている。 しかしながら、国語の5年生の漢字書き問題については、4問中、3問が市の平均を下回っている。また、算数の小数のわり算や分数のたし算などの設問で、市の平均を下回っている。
家庭学習の習慣化への指導	家庭学習のヒント集を家庭に配付し、低・中・高学年で目指す家庭学習の時間や内容を知らせている。また、学年に応じて、宿題以外にも自主学習に取り組むようにしている。	「宿題はきちんとやっていますか。(期限までに提出している。)」の質問に対して、2、4、6年生が市の平均を下回っている。家庭学習にきちんと取り組むことには、まだ課題がある。 しかしながら、「授業で習ったことをその日のうちに復習している。」という質問のある3～6年生の、全ての学年で市の平均を上回っている。特に、3年生では20ポイント、5年生では14.5ポイント上回っている。

### ★国・県・市の結果を踏まえての次年度の方向性

自分の考えを分かりやすく表現する力の育成については、課題がある。ペア学習やグループ学習での学び合いを積極的に取り入れてきたが、今後は、学び合いだけで終わるのではなく、学び合ったことを個の学びに戻し、自分の意見をしっかり持って、それを表現できるように工夫していく必要がある。全ての学年で、自分の考えをノートや作文用紙に書く学習を適宜取り入れ、自分の考えを表現できる力の育成に努めていく。

「授業で習ったことをその日のうちに復習している。」という質問のある3～6年生の、全ての学年で市の平均を上回っている。家庭学習で復習をする習慣が身に付いていると言える。今後も地域学校園で作成した家庭学習のヒント集を各学年の実態に合わせて作成し直して配付するなど、家庭学習の定着に努めてきた成果と考える。今後も、自主学習を奨励したり、その日に行った授業を家庭学習で復習することをきちんと指導したりするなど、家庭学習の充実を図っていく。